



[中央写真] 麻酔科部長の金正先生 [サイド写真: 上から] 本館正面入り口外来受付、受付スタッフの皆さん

日本医科大学 連携先病院紹介

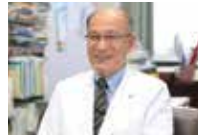
社会医療法人
ジャパンメディカルアライアンス
海老名総合病院
EBINA, KANAGAWA

行政と医療が一体となって地域医療を支える

31年前、救急病院がなかった海老名市に日本医科大学の卒業生が開院した海老名総合病院についてご自身も日本医科大学出身の内山喜一郎院長にお話を伺いました。

仁愛の精神のもとに

近年、急速に開発が進み、人口も増加傾向にある神奈川県海老名市。近隣の座間市、綾瀬市などを含めた県央エリアの急性期医療を担う「社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院」は、今年設立31年を迎えます。日本医科大学の卒業生7名が立ち上げた『仁愛会』が母体となり、医療供給施設が不足していたこの地域に開院した、エリア初の救急医療機能を持つ総合病院です。現在では医師114名、職員950名、469床の民間病院でありながら、行政、医師会と連携し、住民の医療福祉を支えています。



内山 喜一郎 院長

日本医科大学との連携体制について

海老名総合病院は、日本医科大学の大学病院から人材、最先端医療技術の提供を受ける特定関連病院です。民間病院では稀な症例があった場合、大学から専門の医師を迎え対応することもあります。患者さんにとっては病院間の

地域医療支援病院の役割

移動やそれにかかる時間的な負担をかけずにご自身の生活圏内で手術を行えるので、近所に大学病院が無いこの地域では日本医科大学のバックアップが大きな支えになっています。また一方で、大学の若い研修医にとっては、患者さんの診断から治療、そしてご自身の生活の場へ戻るまでの一通りを診るといふ最前線の医療を経験する場となっています。このように大学病院とは別の側面を学ぶことは、これからの医療人にとって貴重なことだと思っています。

海老名総合病院では、入院当初から、医師、看護師、ソーシャルワーカーなどの医療スタッフが患者さん、ご家族と一つのチームとなり、退院後のケアを考え治療を進めながらも、近隣の医療機関との相互協力も積極的に行っています。今後さらに高齢化が進み、慢性期の患者さんも増える中で、患者さんの生活の質を維持し、安心の医療を提供するためには、医療施設、保健施設、福祉施設との連携を徹底するほか、災害対策や予防医療、医療人教育も私たちの重要な役割だと考えています。

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院
〒243-0433 神奈川県海老名市河原口 1320 | ホームページ <http://ebina.jinai.jp>

小田急小田原線「海老名」駅西口より無料シャトルバス運行
予約時間：月～金曜日 8:30～17:00 土曜日 8:30～12:00 休診日：日曜日・祝日
電話予約専用番号 TEL 046-234-6529 歯科外来予約番号 046-235-0142

